

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	地域での暮らしを支えるしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202,203
担 当 教 員	鬼頭 浩美	実務経験と その関連資格	病院等で計14年勤務 介護支援専門員 看護師			
《科目目標》						
1. 豊中市の取り組みから療養生活を支える制度や仕組みについて理解する。 2. 学校周辺のフィールドワークを通して高齢者・障がい者・母児の視点で地域の特徴や課題、自助・互助の実際を探求する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】グループワークへの参加状況30%、課題レポート40%、終講試験30% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療法を支えるケア メディカ出版 公衆衛生が見える メディックメディア						
《授業外における学習方法》						
GWでは積極的に質問することで、より深い学びとなるように事前準備を行う。 毎回の学習については授業以外での準備学習の具体的な内容を参照する。						
《履修に当たっての留意点》						
社会保障制度論で学んでいる生活を支える制度について豊中市の取り組みを調査し理解を深める。学校周辺のフィールドワークを実施し、身近な地域の暮らしと健康に関心に向け、地域の特徴や課題を発見する。2年次には本科目の学習内容を社会保障論、公衆衛生学、地域包括ケアシステム論等と関連付けて理解していく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	暮らしを理解する	テキスト 豊中市HP e-Stat		
		各コマにおける授業予定	地域で暮らすということ 自分の暮らす地域の特徴について調べる 各自の暮らす地域の特徴をグループで共有する			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	認知症サポーター養成講座の概要を調べる	認知症サポーター養成講座HP 新オレンジプラン	認知症サポーター養成講座についてまとめ、指定日時に提出	
		各コマにおける授業予定	1) 認知症者とサポーター数(全国・豊中市) 2) 認知症サポーター養成講座についての概要 3) 認知症高齢者・障がい者徘徊SOSメール			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	豊中市の地域特性について調べる	テキスト 豊中市HP e-Stat	豊中市の特徴と暮らしを支える取り組みについてまとめ、指定した日時に提出	
		各コマにおける授業予定	1)自然環境、社会的環境、文化的環境、健康状態、施設(医療・保健・介護・福祉) 2) 豊中市の取り組みを調べる ①健康づくり、②生活(暮らし)、③防災・災害、④母児・高齢者・障がい者児を支える制度、			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	豊中市での暮らしの実際を知ることができる	iPad	フィールドワークした内容をまとめ、指定した日時に提出。	
		各コマにおける授業予定	母児・高齢者・障がい者児が生活する視点でフィールドワークを行い、プラス面と課題を考える。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	豊中市での暮らしの実際をまとめることができる	iPad	グループワークでまとめた内容を授業終了時提出。	
		各コマにおける授業予定	フィールドワークした内容をまとめる。(プレゼン用のPP、発表原稿)			
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ発表を通して学びを共有し深められる	iPad	他のグループの発表からの学びをまとめ、指定した日時に提出。
		各コマにおける授業予定	フィールドワークのまとめ発表 1G 10分(発表7分・質疑応答3分)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	見守り支援する取り組みの実際が理解できる		認知症サポーター養成講座を受講後、学びをまとめ、指定日時に提出
		各コマにおける授業予定	認知症サポーター養成講座受講(豊中市社会福祉協議会)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域での暮らしを支えるしくみについてまとめる		
		各コマにおける授業予定	終講試験		